

要約

銀色の反射シートをナガイモ種子生産ハウスのうね間に敷いて、光を反射させて光合成量を高めることで、むかごの単収が増加します。

研究成果の概要

1 背景・目的

ナガイモは、地下部にできるいも、地上部の葉の付け根に着生する「むかご」、どちらを使っても種苗とすることができます。むかごは増殖効率が高く、腐敗しにくいことから、青森県内で活用されています。

種苗用むかごはウイルスを媒介するアブラムシ対策として、ガラス室や簡易網室が必要なことから、栽培面積を一挙に増やすことは困難です。

そこで、うね間に銀色の反射シートを被覆し、光合成量を向上させることにより、むかごの単収を増やす方法を研究しました。



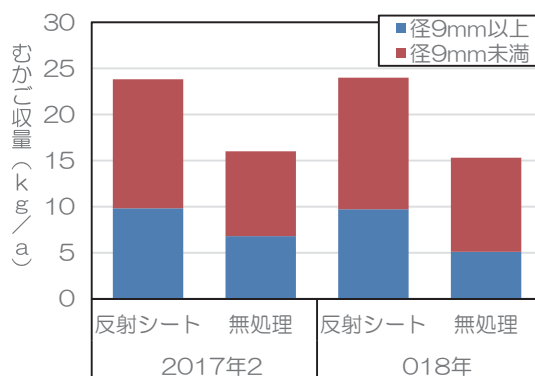
うね間に被覆した反射シート
(右上写真はむかごの着生状況)

2 内容

新品の銀色の反射シートを張ることにより、むかご総収量で1.5倍、製品基準の径9mm以上の収量で1.4~1.9倍程度増収することを確認しました。

3 活用等

現在、県内のJA等がこの技術の導入に向けて有効性の確認試験を行っています。



反射シート被覆処理のむかご収量

関連情報

- 詳細については、平成31年度普及する技術・指導参考資料を参照してください。
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/hukyuugijutu_yasaimokuji.html

野菜研究所 品種開発部

Tel. 0176-53-7171

E-mail nou_yasai@aomori-itc.or.jp



青森産技

あomorいの未来
技術でサポート